

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	弘前市			代表者名	櫻田 宏
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部情報システム課DX推進担当	連絡先電話番号	0172-35-1133
担当者役職	総括主幹	担当者氏名	諏訪 秀樹	連絡先E-mail	
住所	036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	DX推進事業(予定)
概要	市幹部職員等へのDX推進の考え方や方向性など機運醸成。 DX推進担当と今後のDX推進に係る意見交換及び助言をいただく。		
支援を求める分野	計画策定支援 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 人材(外部人材活用)		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	377	令和7年2月12日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年1月29日	講演(実地)	10時00分	16時00分	60
				活動時間(分)	300
2-2. 派遣場所	会場名	弘前市役所	最寄駅	弘前駅	
	所在地	青森県弘前市大字上白銀町1-1	最寄駅からの交通手段	バス又はタクシー	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	市の幹部職員(部課長級)に対して、「DXとは」「なぜ今DXなのか」「自治体におけるDX推進の必要性」「今後DXを進めるにあたって必要な視点」「自治体DXを推進する上で重要なこと」「幹部に必要な視点」等について、分かりやすく講演をしていただいた。また、情報システム課DX推進担当の職員にも、今後の進め方やイメージ図、進める順序など、様々な質問等に対して、他の自治体の例を出しながら、丁寧に説明していただき大変有意義であった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	10人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	10	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	○市の幹部職員(部課長級)に対して、職位にふさわしいDXの必要性や進め方について ○取り組むべきDXの優先順位の考え方について
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	○市の幹部職員がDXの必要性や進め方等についてのポイントを理解し、各部等で考え取組を進めることで業務の見直し(業務の棚卸や事務処理を紙からデータへの移行していくに伴う等の業務の見直し)に伴い、職員の負担は一時的に増えるが、結果的には負担軽減となり働きやすい環境となる。また、市民ニーズにあった取組を進めることで、市民満足度の向上につながる。延いては人口減少に伴い、職員の数も減少しても、必要な行政サービスを継続することが可能となることを目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	○市の幹部職員(部課長級)に対して、「DXとは」「なぜ今DXなのか」「自治体におけるDX推進の必要性」「今後DXを進めるにあたって必要な視点」「自治体DXを推進する上で重要なこと」「幹部に必要な視点」等の講演。 ○当市がDXを進める順番として、①自治体DX推進計画の重点取組事項②BPR(業務効率化)を進めるために、職員が課題等に対して、ワークショップ開き解決していく癖をつける。③紙からデータ、GIS、オープンデータ等のデータ利活用、BPRの取組といった流れが良いのではないかといった支援を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	○支援を受ける前までは、市全体の職員が情報システム課の業務と考えていたが、今回の幹部職員への講演で、少しずつ風向きが変わったように感じた。データ利活用やBPRの重要性についても、理解しているようであった。 ○当市がどのような順番でDXを進めるべきなのか明らかになり大変参考になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 今後市として、どのようなことをどのように進めるべきなのかを認識できた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	○DXを進める順番は明確となったが、それぞれについて、具体的且つ効率的に進める方法 ○課長級以下の職員についての啓発	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの必要性がないため、実施していない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	○業務の効率化や生産性向上を図り、市民サービスの利便性や行政サービスの向上を図る。人口減少に伴い市職員の数が減少しても、必要な行政サービスを維持できるよう、オンライン申請やデータ利活用等を図るなど効率化を図ることで、市民と職員の満足度の向上を目指す。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

